



Thinking of Love, Peace, Freedom and Diversity in ourselves,  
each community and the world . . .  
We appreciate your support and encouragement.



一般社団法人blue earth green trees  
2021年度活動報告書  
2021年4月1日～2022年3月31日



目次	
ご挨拶	P.1-2
<b>各プロジェクト活動報告</b> <b>1.多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業</b>  愛と平和と自由と多様性の種を蒔く / Seedfolks of Love, Peace, Freedom and Diversity P.3 1枚の写真から P.3 第6回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks P.4 第7回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks P.4 第8回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks P.5 第9回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks P.5 第10回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks P.6 第11回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks P.6 2020年度(2020年4月～2021年3月)第1～第5回種を蒔く人のお話を聴く会P.7 手話パフォーマンスワークショップ P.7 ハートフルリーディング/heartful readingP.7 第2回ROUDOKUプロジェクト P.8 第3回ROUDOKUプロジェクト P.8 第4回ROUDOKUプロジェクト P.9	
<b>2.心の健康を応援し、個人の成長及び健康的な人間関係を促す事業</b>  健康的な日々のためにP.10 子育てカフェ P.10 ひとときカフェP.11	
<b>3.SDGsについての理解を深め、SDGs貢献団体を応援する事業</b>  2020年度(2020年4月～2021年3月) 第1～第3回SDGs勉強会P.11 第4回 SDGs勉強会/第5回 SDGs勉強会 P.12 第6回 SDGs勉強会/第7回 SDGs勉強会 P.13 第8回 SDGs勉強会/フェアトレードプロジェクトP.14	
<b>4.同一の目的を持つ団体と協力・協働する事業</b>  ウクライナ避難民応援プロジェクトP.15 手作りマスクを届けようプロジェクトP.16 手作り布ナプキンを届けようプロジェクトP.16 みんなで取り組む難民の皆さんと進む20億キロメートルプロジェクトP.17	
<b>ご協力団体様・協働団体様からのメッセージ</b>  特定非営利活動法人国連UNHCR協会 芳島昭一様より P.18 特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構 奥田鹿恵子様より P.18 株式会社フェアトレードコットンイニシアティブ 入江英明様より P.19 特定非営利活動法人 関西NGO協議会様より P.19	
<b>ご協力者の皆様</b>	P.20
<b>ご協力団体の皆様</b>	P.21
<b>寄付報告</b>	P.22
<b>決算報告</b>	P.23
<b>理事・事務局メッセージ</b>	P.24

## ご挨拶

古都奈良では、1400年前から種を蒔き、木を植え、自然の中で豊かに暮らし、国内外の人々と交流・協力する文化が育まれてきました。blue earth green treesもそのような文化の中で、国内外の多様なお一人おひとりとの出会いと有機的な繋がりから、2018年に任意団体として活動を始めました。2019年度には多様性ワークショップの開催、オーストラリア森林火災被災者・被災動物応援ドネーションイベント、オーストラリアNGO訪問などを行いました。2020年2月中旬にオーストラリアから帰国後、世界の様々な国で新型コロナウイルスの感染拡大が報道され、4月には日本でも第1回目の緊急事態宣言が7都府県に発出されました。

2020年4月、blue earth green treesは新型コロナウイルスが感染拡大する中で、一般社団法人として新たなスタートをきりました。コロナ禍での日々、個人・団体・社会を見つめ、活動の意味を多面的に考える日々が続きました。

2021年度は、前年に引き続き、医療従事者・関係者の皆様はじめ、多くの皆様のご尽力があり、個人・団体がコロナ感染拡大防止を意識し、それぞれの現場に、社会に少しずつ活気が戻ってまいりました。blue earth green treesにおきましても、「多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業」、「心身の健康を応援し、個人の成長及び健康的な人間関係を促す事業」、「SDGsについての理解を深め、SDGs貢献団体を応援する事業」、「同一の目的を持つ団体と協力・協働する事業」を柱に、さまざまな制約を受けながらも多様なプロジェクトを推進することができました。安全に安心できる環境で各プロジェクトを進めることができましたのは、信頼で繋がる多様な個人・団体の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

2022年5月、UNHCRは紛争や迫害で故郷を追われた人の数は1億人を超えたと発表しました。大切な家族や友人を突然奪われること、家族や友人が暴力を受ける場面に直面すること、自分自身が暴力を受けること、住み慣れた家や土地を追われること、仕事を失うこと、安全な場所を求めて延々と歩き続けること、子どもたちに水や食料を与えられないこと、子どもたちが病気になるっても薬を与えられず治療ができないこと、子どもたちが教育を受けられないこと、豊かな自然が破壊されていくこと、民主的な社会が専制者に抑圧されていくこと・・・、世界のさまざまな場所で理不尽なことが起こり、子どもたちや高齢者をはじめ多くの方が苦しんでいる状況が続きます。

平和的解決に向かうプロセスでは、気候変動への対策と共に、対立や紛争や迫害の背景や複雑な要素を多面的に確かめながら、一刻も早い停戦・終戦への道筋をつけられる機能をもつ機関が必要であると思われます。国際社会においても、私たちの日常においても、孤立や排除ではなく、人権を尊重する意識を高め、多様な他者への理解を深める視点と行動、多様な他者と繋がる力や対話をする力、協調・協働するあり方を確かな意志を持って自分自身の中に育て、関わるすべての個人や団体が成長するイメージを持ち、忍耐強く進む他はありません。



blue earth green treesの名前は、国内外の多様な一人ひとりがそれぞれの心の中に、世界に、'Love, Peace, Freedom & Diversity'の種を蒔き、その一粒一粒が芽となり、一本一本の緑の木が青い地球に健やかに育つことをイメージしたところから生まれました。国や人種や言語や文化や宗教などで分断されることなく、私たち一人ひとりが青い地球に生まれ、育つ一本一本の多様な木であり、互いに支え合い、補い合うような存在であると感じます。一人ひとりが心身の健康を大切にし、自分自身と相手の内側にある力を信じ、成長を促進し合える豊かで開かれた関係を築き、国内外の多様な個人・団体の皆様と共に、より良い社会をつくっていきけるように一日一日を積み重ねていきたいと思っています。

SDGs(Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標)で掲げられている'Leave No One Behind'/'誰一人取り残さない」という理念を心に、法律・教育・心理・医療・福祉・環境・まちづくり・農業など、多様な分野の専門家の皆さんと協力し合い、セクターの壁を越え、パートナーシップを活性化し、確かな歩みを重ねていきたいと思っています。

私たち一人ひとりの選択と行動が、次世代やその先の子どもたちの幸せや地球の未来に直結している「今、ここ」で、国内外の多様な個人の声を聴き合い、それぞれのあり方を見つめ合い、学び合いながら、一瞬一瞬ベストな方向を判断し進んでまいりましょう。そして、地球も人も自然体で生き生きとそのままの輝きを発することができるように、国内外のそれぞれのコミュニティで自由に創造的で心豊かで柔軟なプロジェクトを育ててまいりましょう。'Love, Peace, Freedom & Diversity'の文化を育てていくblue earth green treesのコミュニティでは、国内外の多様な個人や団体の皆様とお互いの声を聴き合いながら、それぞれの関心のある分野で、可能な時に、可能な形で繋がっていただけましたら嬉しく思います。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

2022年6月

一般社団法人blue earth green trees



# 1. 多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業

## 愛と平和と自由と多様性の種を蒔く / Seedfolks of Love, Peace, Freedom and Diversity

活動概要	毎日を健康に希望をもって生きていける知恵など、国内外から多様なメッセージを届けていただいています。仕事やライフワークについての志と実践、社会課題や地域課題への取り組み、家族や友人との繋がり、心を豊かにする芸術、国内外で種を蒔き続ける人の紹介など、それぞれの声を聴き合い多様な視点を育て合う場をみんなで作っています。
メッセージ掲載数	303件（2020年度159件+2021年度144件）
リーダー〈東口千津子〉の声	国内外の個人・団体の皆さんから届けられるメッセージに悼みや苦しみを共にし、光や希望を感じました。それぞれのあり方から多様な視点を学び合い、個人・組織・社会について考え、より良い方へ向かう行動を模索し続けました。We listened to various messages, shared our ideas, thoughts and actions and learned the better ways to live.



### 1枚の写真から

活動概要	一人ひとりの生活で見つけたものを1枚の写真にタイトルやコメントをつけて交流しています。様々な人の感じ方や考え方を知ること、物の見方や考え方を豊かにしていただけたいと思います。お互いの思い入れのある1枚の写真を使って語り合うことを今年も大切にしていきます。
掲載数	82件(2020年度26件+2021年度56件)
リーダー〈杉岡博幸〉の声	携帯電話のカメラ機能を使って手軽に写真が撮れるようになり、じっくり眺めるよりも何枚も何枚も写真に残して満足している自分がありました。今は、じっと立ち止まって眺めている自分があります。皆さんの1枚1枚も添えられている言葉とともにじっくりと味わっています。皆さんの写真とキャプションが私の想像を広げてくれます。



# 1. 多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業

## 第6回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks～五ふしの草 榊原一憲さん

開催日時/会場/参加人数	2021年6月12日(土)13時～14時30分@奈良県文化会館 参加者17人
活動概要	五ふしの草の「種蒔きから台所に届くまで」の適正な流れ、有機農業の現状、農家の営みとネットワーク、環境と調和のとれたあり方、SDGsについての考えと実践などについてのお話を聴きました。「たねのきゅうしょく」という映像では、有機農業で育てられた野菜が幼稚園の給食として子どもたちのもとに届けられていることがわかりました。
参加者の声	①農家さんがもっとオーガニック野菜を作りやすい環境があれば、もっと増えるだろうと思いました。②「たねのきゅうしょく」の映像もあたたかく、素晴らしいメッセージが届きました。③普遍的なこと、本質的なことを見つめ、実践しておられる日々が伝わってきました。④農業をまじめに考え、頑張る榊原さんの姿に力をいただきました。
リーダー〈東口千津子〉の声	確かな意思を形にしておられる榊原さんのあり方・姿勢に共感しました。暮らしの根底を支える「食」についてわかりやすく大切なことを教えていただき、特に有機野菜を使った幼稚園給食は子どもにも家族にも嬉しい取り組みだと感じました。安心と信頼で繋がる顔の見える関係性を大切にされていることにも共感しました。



## 第7回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks ～一枚の写真からプロジェクトリーダー杉岡博幸さん

開催日時/会場/参加人数	2021年8月28日(土) 13時～15時@奈良県文化会館 参加者17人
活動概要	参加者一人ひとりが大切にされている「一枚の写真」を持ち寄り、お話を聴き合いました。それぞれの母語(日本語、英語)で、思い出の場面・旅や大自然・家族や友人との大切な時間・趣味などについて語られるそれぞれのお話に、新たな気づきがありました。HPでの「一枚の写真から」を毎年一度は対面で開催していく予定です。
参加者の声	①人との出会い、絆の大切さについて、改めて考えさせられました。②それぞれの想いのつまった写真に、勇気づけられたり心があたたかくなったり、また頑張らなくてはという気持ちになりました。心動かされる機会に巡り合えたことを嬉しく思います。③私が今日出会ったような先生方に、子どもたちが未来に出会えるように願ってやみません。
リーダー〈東口千津子〉の声	杉岡先生の「人との出会いとつながり」を大切に日々を歩んでおられる姿勢、そして参加者一人ひとりの写真と語られる言葉から響いてくるお人柄と暮らしが伝わってきました。対面でお一人おひとりのあり方を感じ、新たな気づきをいただき心動かされる瞬間や相互理解を深める時間を過ごすことができ、前に進むエネルギーを頂きました。



# 1. 多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業

## 第8回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks ～一般社団法人ニジェール物語製作委員会福田英子さん

開催日時/会場/参加人数	2021年10月16日(土)13時～15時@奈良県文化会館 参加者19人
活動概要	ニジェールでの暮らし・自然・エネルギーなどについて福田さんのお話をお聴きしました。福田さんはニジェールに寺子屋を作り、教育支援も継続されています。サハラ砂漠を舞台にした7つの寓話からなる「ニジェール物語」は2016年に絵本として生まれ、2017年に映像として完成し、目に見えない不思議なものたちの命のあり様を伝えていきます。
参加者の声	①想像力をかきたてる絵本の動画に夢中になって聞き入りました。②絵本は子どもだけのものではなく、経験と重ね合わせて大人が読むことの意義は大きいと感じます。③日本の電力の一部がニジェールのウランで発電されていることを知りました。④生き方は変えられるという言葉は強く心に残った。⑤原子力についてはやはり考え続けたい。
リーダー〈東口千津子〉の声	ニジェールを旅するような気持ちで映像を観ていました。砂漠、星、木、月、湖、雨、雷、山、岩などが色鮮やかに描かれていて想像が広がりました。福田さんのお話からはニジェールの社会や文化、人々の暮らしや子どもたちの様子、エネルギーのことなどを教えていただき、人間のあり方、社会のあり方について深く考えさせられました。



## 第9回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks ～特定非営利活動法人国連UNHCR協会芳島昭一さん& RHEP大学生

開催日時/会場/参加人数	2021年12月11日(土) 13時～15時@奈良県文化会館 参加者20人
活動概要	2020年12月に引き続き、世界の難民の皆さんの現状について、一人ひとりができることについて芳島さんからお話をお聴きしました。難民高等教育プログラムで日本の大学に通っている難民認定を受けた大学生のお話では、母国の状況と経験について、日本で見つけていることや感じていることについて、将来の希望などについてお話を聴きました。
参加者の声	①安心して暮らせない母国を離れて新しい場所で生活していくためのチャレンジを重ねられた体験のお話、またご自身についてお話下さったことから勇気と励ましをいただいたとともに、難民支援のお仕事の大切さを感じました。②日本の難民認定率をあげるにはどうするのが良いのでしょうか？③お話を聞いて、私も頑張っていこうと思いました。
リーダー〈東口千津子〉の声	気候変動や紛争をはじめ、さまざまな要因で母国から避難せざるを得ない難民の人々の声を聴かせていただき、私たちがどんな社会を築いていかなければいけないのか考え続け、行動し続けなければならないと感じました。大学生の方は実体験を言葉にして私たちに伝えていただき、内側にお持ちのさまざまなお力が伝わってきました。

# 1. 多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業

## 第10回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks ～特定非営利活動法人AMDA社会開発機構奥田鹿恵子さん

開催日時/会場/参加人数	2021年12月26日(日) 13時～16時@奈良県文化会館 参加者13人
活動概要	AMDA社会開発機構ネパール事務所からホンジュラス事務所に異動される間の一時帰国の期間にネパールでの貧困軽減と健康促進事業についてお話をお聴きしました。コロナの影響を受け、人々が仕事を失ったり物流が滞る中、事業地の人々とのように信頼関係を築き健康的なコミュニティを共に育てていくのかという視点を伝えて下さいました。
参加者の声	①「あとは自分たちでやっていけます」との言葉をネパールの方々からもらったエピソードが心に残りました。②国の位置によって周囲から影響を受けることなど、現地の状況を知ることができました。③継続は力ですね。④多民族国家でそれぞれのアイデンティティを守りながら生活の質向上のための活動をされているのが伝わってきました。
リーダー〈東口千津子〉の声	ネパールのお一人おひとりが自らの意思で自分の生活を築いていかれることを意識され、行動されている奥田さんのあり方に共感しました。「あとは自分たちでやっていけます」とのメッセージを伝えられたネパールの皆さんと奥田さんの関係性と距離感に学ぶことが多くあると感じました。次はホンジュラスのお話を楽しみにしています。



## 第11回種を蒔く人のお話を聴く会/Listening to Seedfolks ～認定特定非営利活動法人気候ネットワーク伊与田昌慶さん

開催日時/会場/参加人数	2022年2月26日(土) 13時～15時@奈良県文化会館 参加者15人
活動概要	「気候危機の今とこれから」のテーマで「2020年に新たに住む場所を失った人数(紛争:980万人、気候関連災害:3000万人)」、「地球の大気中のCO2濃度の変化」、「1.5℃目標への決意、2030までに2010年比で約45%のCO2削減」、「決定的に重要な10年」、「日本の温室効果ガス排出量の推移と目標」、「建築物省エネ法」についてお話をお聴きしました。
参加者の声	①We go back to basic educating our children to take care of our environment. ②建築物省エネ法は初めて知ったので個人でできることとして周りの人にも伝えていきたいと思いました。③世界の取り組みと日本の取り組みを知ることができました。個人でも日々の生活の中に常に気候変動を頭に入れていきたいと思います。
リーダー〈東口千津子〉の声	気候危機のために難民の人たちが複数の地域で生まれています。「最も立場の弱い人のことを考え、行動する」という点に特に共感しました。省エネをはじめ、世界の子もたちと地球環境を大切にする方へ進むことを意識し行動し続けたいと思いました。2年前に伊与田さんのお話をお聴きしましたが、また2年後に聴かせていただきたいです。





# 1. 多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業

## 2020年度(2020年4月～2021年3月)第1～第5回種を蒔く人のお話を聴く会

- 第1回：2020年10月17日、岩崎裕保さん&Darryl Takizo YAGIさん、参加者31人
- 第2回：2020年11月6日、奥田鹿恵子さん、参加者11人
- 第3回：2020年12月26日、芳島昭一さん、参加者18人
- 第4回：2021年2月13日、田中啓義さん、参加者32人
- 第5回：2021年3月20日、中溪宏一さん、参加者17人

## 手話パフォーマンスワークショップ

活動概要	2021年1月に開催を予定していました手話ワークショップは、新型コロナウイルスの影響を鑑み、中止となりました。
協働団体	一般社団法人手話エンターテイメント発信団oioi
リーダー〈岡崎 伸彦〉の声	2021年度は「種を蒔くメッセージ」で手話パフォーマンスをお届けさせていただきましたが、2022年度は奈良で皆さんにお会いし、手話を楽しんでいただける場を作りたいと思います。



## ハートフル リーディング/heartful reading

活動概要	人の心に寄り添い、思いやりの種を育てていけるように、ハートフルリーディング・プロジェクトのメンバーが朗読を配信しております。
聴き手の声	①いつも朗読を楽しみにしています。世界の厳しい状況の下、朗読で元気をいただいています。 ②いろいろなテーマの朗読を聴かせていただき、それぞれの季節や自然や暮らしを感じています。 ③朗読の楽しさ・面白さを感じています。ありがとうございます。
リーダー〈チコ〉の声	朗読を通じて、皆さんに心温まる時間を楽しんでいただけたら幸せです。



# 1. 多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業

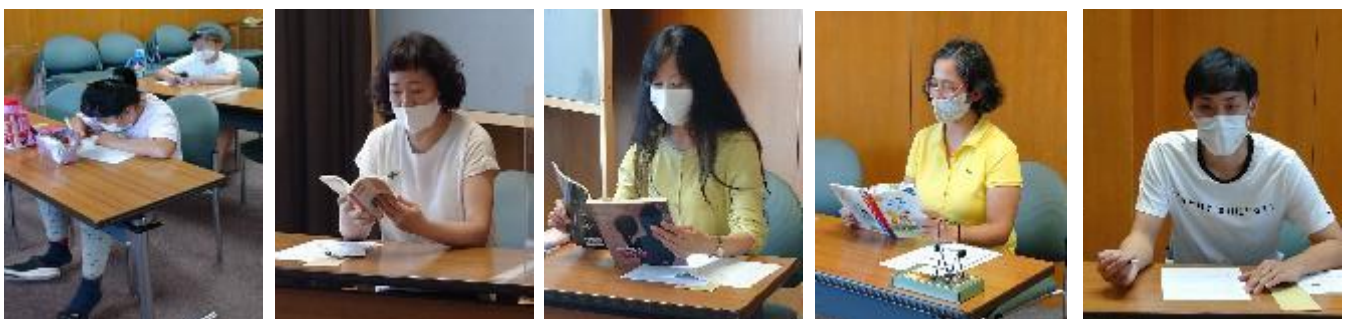
## 第2回『ROUDOKU』プロジェクト

開催日時/会場/参加人数	2021年7月24日（土）13時～15時@奈良文化会館多目的室 参加者13人
活動概要	一人ひとりの好きな作品(5分以内、言語も自由)を持ち寄り、声に出して読み、聴き合うプロジェクトです。作品を選んだ理由や感じたことを分かち合う時間も大切にします。多様性を楽しみ、自他の中にあるさまざまな要素に気づき、多様な皆さんとの繋がりを育てていきます。
参加者の声	①心動かされました。作品を選ばれたことにも様々なストーリーを感じ、「聴く」ことの意味を実感しました。②母国語での朗読があって良いなと思った。 ③I enjoyed listening to 'ROUDOKU'. It catches attention when the reader reads with feelings and emotions as if listening to the radio. ④生活、生き方に結びついたメッセージを受け取りました。
参加者のROUDOKU作品	・「鈴の鳴る道」星野富弘 ・「あなたに贈る花ことば」若菜晃子 ・「編集工房ノア」じいさん、ばあさんより「蝉」「いちばんいいひ」 ・「一枚上手」平野啓一郎 ・「でんでん虫のかなしみ」新美南吉 ・「GIFT」 ・「イマジ」ジョンレノン ・「独处与私密空間」荘いい秋 ・「Thinking of Love, Peace, Freedom and Diversity in Melbourne/Hawaii」 Chizuko HIGASHIGUCHI



## 第3回『ROUDOKU』プロジェクト

開催日時/会場/参加人数	2021年9月25日（土）13時～15時@奈良文化会館 参加者12人
参加者の声	①参加するたびに奥の深さを実感しています。心が豊かに潤う、良い時間を過ごさせていただきました。②作品選びの妙を痛感しています。「朗読は人、人は輪、ことばは力」。③今日は'心'を表現する作品が多かったように思います。まさにハートフルリーディング！④その人となりがとても伝わり、言葉以上に感じること、考えさせられました。
参加者のROUDOKU作品	・「言葉が鍛えられる場所」平川克実 ・「こころの深呼吸」片柳弘史 ・「星の王子様」サン＝テグジュペリ ・「Alone」の『失業的人』、黄佳慧 ・「小さな舞台」山崎陽子 ・「美しいもの」覚和歌子、「枕草子より美しきもの」清少納言 ・ Bible for Children ・「父は空、母は大地」寮美千子訳



# 1. 多様性を認め合い、お互いを生かし合う社会を育む事業

## 第4回『ROUDOKU』プロジェクト

開催日時/会場/参加人数

2021年11月27日（土）13時～15時@奈良文化会館 参加者9人

参加者の声

①Through readings - gives us so much wisdom. We can understand different culture and races, and it brings us to places we never visited.  
 ②世界にたったひとつのあなたの声、私の声、ますます磨いてまいりましょう。「声磨きは人磨き」 ③今日は日本語、古典、英語、フランス語、中国語と聴かせていただき、本当にぜいたくな時間を過ごすことができました。  
 ④その方その方の人生を聴かせていただいているようでした。

参加者の  
ROUDOKU作品

・「天使は見つめている」小澤摩純 ・「フランスの友人からの手紙」 ・「一個人 Alone」 ・「English Bible」 ・「約束のジュエリー」角田光代 ・「扉を開ける/時を磨く」角田光代 ・「枕草子/春はあけぼの」清少納言 ・「木にたずねよ/めぐる木」和合亮一 ・「こころを動かす言葉」加賀美幸子 ・「Discovering Aloha」 Aloha Movement Kauai ・「生命は」吉野弘



リーダー〈東口千津子〉  
の声

第2回～第4回ROUDOKUプロジェクトにご参加下さったお一人おひとりの声・言語・読み方・選択された作品と理由などに多様なあり方を感じ、自分自身の内側に豊かな世界が広がっていくのを感じました。また、それぞれに感じたことを聴き合う中で、お一人おひとりが大切に育ててこられた要素に気づいたり、新たな魅力に出会ったり、あたたかい気持ちを育んだりするひとときを共有することができました。毎回、ROUDOKUプロジェクトを閉じる時間には彩り豊かな手触りの良い布を縫い合わせた一枚のタペストリーがそこにあるような気持ちになります。



## 2. 心の健康を応援し、個人の成長及び健康的な人間関係を促す事業

### 健康的な日々のために

活動概要	健康的な日々を過ごすために、また健康的な人間関係を育てていくために、30の視点をシンプルな表現で繋がる皆さんにお届けしました。お一人おひとりに役立つ視点を見つけていただき、活かしていただくことで、それぞれのコミュニティもより健康的な方向に向かっていくことを祈っています。
参加者の声	①今、自分にできることがあることに気づきました。②家族や友だちとも30の視点を共有しています。③お互いが良い状態をキープし、気持ちよく過ごせるように職場の仲間にも共有しました。
リーダー〈東口千津子・小原祥子・松本由季子・矢倉真由子〉の声	コロナ禍や厳しい世界情勢の影響を受ける日々、不安や孤独や怒りや混乱を感じておられる方々の声をお聴きし、心身の健康を応援する機会が増えてきました。お一人おひとりができるシンプルなことを見つけていただきたいと思い、30の視点をお届けしたところ、それぞれの暮らしに活かしていただいている感想が届きました。



### 子育てカフェ

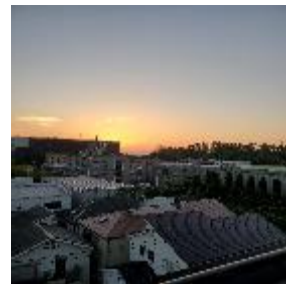
活動概要	2021年度4月より、毎月第4金曜に実施。参加人数は3~6名で実施しました。毎回特にテーマは決めず自由に発言していただく形で始まります。自然な流れの中、その回その回で大事なテーマが見えてくる印象です。
参加者の声	①Today learned from our sharing to listen. We observe and trust our children. Even if we want to correct or help them, sometimes we need to keep quiet and let them do things on their own. Give them freedom with supervision. ②家族一人ひとりに得意や不得意や、好きなことや嫌いなこと、気になること、気にならないことなど、いろいろな違いがあって、なんとなく役割を分けながら、時にはぶつかり合うこともありながら、家族の形ができていくのだなと思いました。
リーダー〈矢倉真由子〉の声	日々の子育てで体験する感情、体験してきた感情、また子育てへの不安や期待などを共有する機会を持ち、互いに元気をもらいながら、次の一歩につなげていくことができたいと思います。自由であたたかな空間で、開かれた自身の心と向き合うことができる時間は、自身の生き方への模索にも繋がるように感じています。



## 2. 心の健康を応援し、個人の成長及び健康的な人間関係を促す事業

### ひとときカフェ

活動概要	ひとときカフェプロジェクトの活動スタートの年となった2021年。第一回7月29日（土）参加人数6名、第二回9月29日（土）参加人数6名、第三回11月29日（土）参加人数6名で実施しました。連続でご参加の方、若い方、初めてグループにご参加くださる方等、毎回新たな出会いの中、豊かなひとときを共有させていただいています。
参加者の声	①お一人おひとりのお話は異なるけれど通じるものがある。個々の存在と人との繋がり、双方の大切さを感じました。②とても深い交流ができ、幸せな気持ちでいっぱいになりました。③それぞれの方の重ねてこられた時間やストーリーを感じる深く豊かな時間になりました。
リーダー〈小原祥子〉の声	コロナ禍の不安が続く中、様々な想いを胸にそれぞれの道に行く人同士が、しばし足を留め互いの「今」を聴きあう機会となれば…とスタートしました。限られた時間ですが、毎回の新たな出会いを通し、お互いの言葉や想いに耳と心を傾ける温かな空気に包まれ、心が豊かに動かされる瞬間を感じています。そんな「ひととき」をご一緒しませんか。



## 3. SDGsについての理解を深め、SDGs貢献団体を応援する事業

### 2020年度(2020年4月～2021年3月) 第1回～第3回SDGs勉強会

- 第1回：2020年10月17日、参加者31人、「NSEW(Natural, Social, Economic, Who decides?)」  
第2回：2020年12月26日、参加者18人、「15年前の世界と2030年の世界を考える」  
第3回：2021年2月13日、参加者32人、「人権と多様性についてのロールプレイで考える」



### 3. SDGsについての理解を深め、SDGs貢献団体を応援する事業

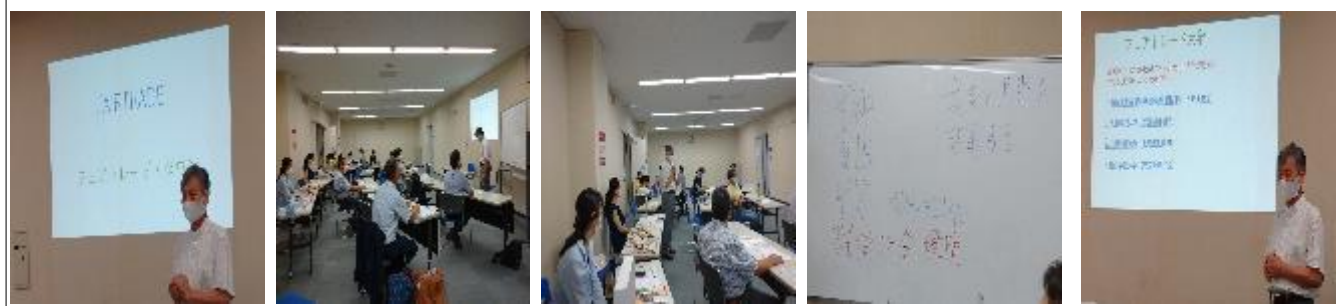
#### 第4回 SDGs勉強会 「フェアトレードについて」

開催日時/会場/参加人数	2021年6月12日(土)14時30分～16時@奈良県文化会館多目的室 参加者 17人
活動概要	1960年前後に難民などの手工芸品販売をする人びとからフェアトレードは始まりました。フェアとは、取引における分配・権力・情報の平等・対等・尊重・支援・連帯ということです。途上国はチャリティが欲しいのではなく、“Trade Not Aid”（援助より貿易を）という声上がり、フェアトレードの基準「適正価格」を考えるようになります。
参加者の声	①商品の品質だけではなく企業の良心を測るという指標もあって大変興味があります。 ②Helping a lot developing countries to have a sustainable income. In doing so, we can make our world a better place to live. ③最後は行動にうつしていきたいと思います。
リーダー〈岩崎裕保〉の声	フェアトレードは市場経済とは違って、大量生産・大量消費・大量廃棄といった枠組みにはありません。声を聴き合ったり、物語を共有したりと質や関係性を大事にする活動です。こうした仕組みの意味に気づいて参加する人が増えていくと社会が少し変わる機会になりそうです。



#### 第5回 SDGs勉強会 「フェアトレードⅡについて」

開催日時/会場/参加人数	2021年8月28日（土）15時～16時30分@奈良県文化会館多目的室 参加者 15人
活動概要	フェアトレードタウンとは、地域の市民、学校、企業、行政などが「まちぐるみ」でフェアトレードを推進している地域のことで、イングランド北部の小さな町ガースタングで2001年に始まり、今では全世界で2000以上あり、日本では基準を満たした6つの町が認定されていて、15ほどの町が認定をめざしています。
参加者の声	①フェアトレードタウンを目指そうとしている都市に関西圏が三重しかなくて残念に思います。 ②奈良市/生駒市をフェアトレードタウンにできれば良いと思いました。 ③世界の一人でも多くの人の笑顔と幸せの為に役立ちたいと思いました。
リーダー〈岩崎裕保〉の声	フェアトレードタウンになるための条件は、必ずしも易しいものではありませんが、それをクリアしようと仲間が集まって動かしていくのは楽しいことでもあります。議会などとの交渉もありますが、これはより広い支持を得るために必要な過程です。大学といった単位での展開も興味深いです。



### 3. SDGsについての理解を深め、SDGs貢献団体を応援する事業

#### 第6回 SDGs勉強会 「コンビニについて」

開催日時/会場/参加人数	2021年10月16日(土)15時～17時@奈良県文化会館多目的室 参加者 15人
活動概要	参加者はコンビニとどんな付き合いをしているのかを尋ねることから始めて、コンビニに関するクイズをしました。後半は、コンビニの店長になって、コンビニ経営者の在りようなどについて考える参加型のワークをしました。実はなかなか利益を出すのは難しいということが見えました。
参加者の声	①環境、エネルギーの点で、コンビニの抱える課題を再認識しました。 ②コンビニの便利さに頼ってきましたが、労働環境の厳しさなど、あらためて知りました。 ③働くこと、暮らすことについて考える機会となりました。
リーダー〈岩崎裕保〉の声	24時間365日営業しているコンビニは便利で有難いかもしれませんが、果たしてそれは人や環境にやさしい事業と言えるでしょうか。とりわけコンビニ経営者にとってはキビシイ職場になっていないでしょうか。持続可能な営業システムとはどのようなものか、再構築する時期が来ているように思います。



#### 第7回 SDGs勉強会 「核（兵器）について」

開催日時/会場/参加人数	2021年12月11日（土）15時～17時@奈良県文化会館多目的室 参加者 15人
活動概要	核兵器については、1996年に国際司法裁判所が国際人道法に反するとしています。日本政府は1945年8月10日に、原爆投下について抗議文をアメリカ政府に送ったにもかかわらず、核の傘の下に入ってしまった。核の軍事利用（広島・長崎）と民生利用（福島）の被害を受けた唯一の国民として、しっかり考えねばならない問題です。
参加者の声	①核にまつわる自国日本、世界のジレンマは簡単に解決することではないかもしれませんが、まず自分自身が「守り人」のひとりとしての資格があることを、今日教えていただいたこと、とても大きな学びでした。②いろいろな角度から考え続け、子どもたち・若者たちが安心して生きていける環境になるよう行動していきたいと思います。③So interesting to know the Common Agenda:such as 'No one leave behind', 'Protect our planet', 'Build trust', 'Listen to work with youth' . . .I think these can be best summarized by promoting peace and ensure justice for all if possible. ④長崎・広島市長のスピーチが良かったです。⑤日本国内だけでなく、世界のさまざまな国の声を知り、広い視野で考え続けていきたいです。
リーダー〈岩崎裕保〉の声	日本では、軍事は核、民生は原子というようにコトバの使い分けをしています。そういう文脈があるので、非核宣言都市は軍事の核にNOを言っているだけにとどまっています。冷静にそして積極的にこの問題について考えて答えを見つけていくことは、きわめて大切だと思います。

### 3. SDGsについての理解を深め、SDGs貢献団体を応援する事業

#### 第8回 SDGs勉強会 「豊かな社会にとって大切なこと」

開催日時/会場/参加人数	2022年2月26日(土)15時～17時@奈良県文化会館多目的室 参加者 15人
活動概要	普段の暮しで気をつけていることのチェックをしてから、「無人島ゲーム：Needs & Wants」で、豊かさの前提となる必要なもの（と欲しいもの）について考えました。近代社会はneedsを公的に整えてきましたが、それが市場化の流れで変化する可能性があります——イヴァン・イリイチは学校・医療・交通を市場化してはいけないと言っていました。
参加者の声	①自分の生活が誰かの脅威になっていないか、また公的に組織やシステムを整えた上で豊かな暮らしが成り立つのだと知り、改めて個人が自覚をもち物事を選択することが大切なのだと思います。 ②自分の価値観や生活スタイルを見直す機会になりました。
リーダー〈岩崎裕保〉の声	参加型でしゃべって共に考えていくという学び方は、やはり楽しいと感じます——こういう学びのスタイルも暮らしの質を支えることになりそうです。まさに“Development is sharing happiness.”です。自助が強調され、共助・公助が弱体化していくと公正な社会から遠のいていかないでしょうか。



#### フェアトレードプロジェクト

活動概要	2021年4月からblue earth green trees ロゴ入りエコバックの販売を開始し、インドの子どもたちとコミュニティを応援しています。2022年3月末時点での販売数はショルダートート85個、ベーカリートート49個、ランチトート52個、合計186個、売上金額は372,000円です。4月から新たにマルシェバッグが加わり、4種類のバッグで展開しています。同バッグの制作をお願いしているフェアトレード コットン イニシアティブ/SCOOの代表取締役 入江さんを、8月13日(土) 奈良文化会館多目的室にお招きします。バッグの原料となるコットンを栽培しているインドの綿花農園やフェアトレード制度を通して建設された学校にも何度も足を運ばれており、現地の様子やフェアトレードの実情などについてお話を頂く予定です。
参加者の声	①母の日の贈り物としてプレゼントしましたらとても喜んでもらえました。②私と旅するフェアトレードバッグ！ショルダートートと一緒に旅をします。やっぱり自然が好きです。③自然な素材でとてもおしゃれですね。ベーカリートートの形が可愛くて気に入っています。④It's nice to be able to support children and the local community in India by this fair-trade & organic cotton bag. ⑤カフェに行ったり散歩をする時に、ランチトートを使っています！
リーダー〈尾松貴美〉の声	日頃からフェアトレードプロジェクトにご協力頂き、ありがとうございます。4月から仲間入りしたマルシェバッグは、これまでの3種類の生地よりも薄手で折り畳むととてもコンパクトになり、お仕事やお出かけの際にお手軽に持ち運び頂けて便利です。これらのフェアトレード認証バッグは、インドのコットンファームの大切な収入源であり、地元の小学校建設などのインフラ整備にも繋がります。身近なエコバッグを通して、これからもフェアトレードについて知る、考える、生活に取り入れる、周りの方にも知ってもらうという輪を、皆さんと一緒に広げていけたらと思います。引き続きどうぞ宜しくお願い致します。





## 4. 同一の目的を持つ団体と協力・協働する事業

### ウクライナ避難民応援プロジェクト

#### 活動概要

2022年2月24日にロシアによるウクライナ軍事侵攻が始まり、国内外に避難を余儀なくされる人々が日に日に増えていることが報道されています。3月12日・13日9:30～11:30、奈良県文化会館第一会議室に有志が集い、ウクライナ国内外に避難している皆さんに想いを寄せ、また世界の平和に向けて今できることを考え、それぞれの声を聴き合いました。参加者のお気持ちをドネーションとしてお預かりし、国連UNHCR協会にお送りしました。メッセージのみの参加者も含めて3月末で100名近くの方々プロジェクトにご参加くださいました。

#### 参加者の声

①軍事侵攻に反対し、一刻も早い平和的解決を望みます。②ロシア市民に戦争反対の声を届けたいです。③対話によって停戦してほしいです。④民主主義・人権思想を醸成していくことが大切だと思います。⑤ウクライナやロシアや関係諸国について知る努力をしていきたいです。⑥市民が自由に喋りあうことがとても大切だと感じます。⑦Let Peace, Freedom & Love reign in our hearts. ⑧軍事行動に合理性はなく、有効でもなく、無益に帰すものである。⑨正しく知り、正しく理解していきたいと思います。⑩多面的に物事を見ていきたい。

#### リーダー（東口千津子）の声

私たち一人ひとりが何を大切に感じ、どのように自分自身を育て、どのように人と信頼関係を築いているのか、また組織との関係、国との関係をどのように構築しているのか、日々、見つめ続ける必要を感じます。自分の軸を内側にしっかり育て、自分で考え、自立的に行動し、自他を尊重する判断を重ねながら、個人や組織や国と健康的な関係を育て続けることが危機状態に陥ることを防ぎ、自他を守ることに繋がるのではないかと考えます。Love, Peace, Freedom & Diversityの種をさまざまな場所で蒔き続け、軍事行動ではなく、多様な一人ひとりの声を聴き合い、対話で平和の文化を育てる方向へ、皆さんと一緒に歩み続けたいと思います。We hope that a peaceful resolution can be brought in Ukraine, Russia and other countries as soon as possible. We also hope that you, your family and your friends will be able to live safe and healthy in your beautiful community.



#### 4. 同一の目的を持つ団体と協力・協働する事業

##### 手作りマスクを届けようプロジェクト

活動概要	2020年4月の活動開始から延べ2533枚の手作りマスクをお預かりし、今年度はAMDA-MINDS岡山事務所33枚・インド150枚・ホンジュラス120枚・セントビンセント・グレナディーン150枚・ケニア150枚・ネパール150枚のお届けをしました。コロナ感染対策だけでなく火山噴火対策やケニアのナイロビ日本人学校のプロジェクトでの活用も目的とすることができました。
参加人数	個人66人、6団体（お名前掲載を希望されない方は数に含まず）
協働団体	特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構（AMDA-MINDS）
参加者の声	ケニアの子どもたちがあのマスクを使うことを想像するだけでワクワクします。このプロジェクトを行うことができたのも皆様のおかげです。（ナイロビ日本人学校中学生）
リーダー〈今中和子〉の声	参加者の皆さまの思いのこもった手作りマスクを多くの国の方々にお届けすることができました。大切に使用しているとの声をお聞きし大変嬉しく思います。ナイロビ日本人学校のプロジェクトでは子どもたちが繋がりあえる活動に協力でき、手作りマスクの持つ力や魅力を感じました。



##### 手作り布ナプキンを届けようプロジェクト

活動概要	改良した布ナプキンをAMDA-MINDS様のホンジュラス事業で活用頂き、布ナプキンの作り手を増やすため「手作り布ナプキンワークショップ」を開催しました。今後、NPO法人DAREDEMO HERO様「フィリピンにおける女性の権利と健康向上（風に立つライオン基金事業）」からのご相談を受け、布ナプキンキットを現地にお送りし、保健師対象のオンラインワークショップを開催予定です。
協働団体	特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構（AMDA-MINDS）
参加者の声	①お会いしたこともない世界の人々の姿を思いながら、一針一針、針をさすという貴重な体験でした。同じ場で一緒に誰かを思い、ものを作る皆さんの存在も仲間のように感じる時間でした。②初めて布ナプキンを作りました。環境への観点からもとから興味はありましたが、とても良い機会になりました。③日本でもナプキンを買えずに困っている女の子たちが増えていくとニュースで読みました。こういう試みが国内外の問題に向き合うきっかけになっていくことを願っています。
リーダー〈松本由季子〉の声	先日、厚生労働省から日本における「生理の貧困」に関する初の調査結果が発表されました。このように、日本においても「生理の貧困」が問題になっていますが、途上国における「生理の貧困」の問題は更に深刻です。これからも、国内外の問題に目を向け協力頂ける方々と共に、このプロジェクトを継続していきたいと思えます。



#### 4. 同一の目的を持つ団体と協力・協働する事業

##### みんなで取り組む『難民の皆さんと進む20億キロメートル』プロジェクト

活動概要	:国連UNHCR協会の取り組みに賛同し、難民の皆さんと進むプロジェクトを2021年1月18日にスタートしました。2021年3月末現在、個人・団体で「歩いた」「走った」「自転車に乗った」「泳いだ」距離は90640.346kmとなりました。国連UNHCR協会に報告し、ウェブサイト合計距離を表示していただいています。
参加人数	個人50人、団体20組95人 合計145人(3月30日現在)
協働団体	特定非営利活動法人国連UNHCR協会
リーダー〈ルミカ〉の声	厳しい環境下であっても、まず自分自身の健康を意識しましょう。そして「歩き」「走り」「自転車に乗り」「泳ぎ」、難民の皆さんに想いを寄せながら進んでいきましょう。ひとりの距離は短くてもみんなの距離を合わせるとすごい距離になります。自然を感じながらそれぞれのペースで継続していきましょう。



### 特定非営利活動法人国連UNHCR協会 芳島昭一様より



平素よりUNHCRの難民援助活動にお力添えいただき誠にありがとうございます。ロシアのウクライナ侵攻以前から、世界では8240万人以上の難民・国内避難民の方々が紛争や迫害などによって愛する故郷を追われ、厳しい避難生活を送っていましたが、現在進行形で起こっているウクライナの情勢を考えると、現段階では既に9000万人を超えていることは明らかです。私たちは戦後最悪の人道危機を日々目撃していると言っても過言ではありません。そんな中、貴団体からはこれまでのご支援に加え、ウクライナの方々が置かれた窮状にもお心をお寄せいただき、いち早く大変温かなご寄付を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。お寄せいただきましたご寄付は、ウクライナの方々はもちろんのこと、世界中の窮状に置かれている難民・国内避難民の方々が前を向いて生きていくための大変大きな力となります。今後ともお力添え賜れましたら大変ありがたく存じます。

#### 〈 寄付先からのメッセージ 〉



難民を守る。難民を支える。  
国連UNHCR協会

国連の難民援助活動に協力したい。そのための公式支援窓口です。国連UNHCR協会  
UNHCR(国連難民高等弁務官事務所)は1950年に設立された国連の難民支援機関です。紛争や迫害により故郷を追われた難民・避難民を国際的に保護・支援し、難民問題の解決に対して働きかけています。1954年と1981年にノーベル平和賞を受賞。スイス・ジュネーブに本部を置き、約135か国で援助活動を行っています。この国連の難民支援活動を支えるため、広報・募金活動を行う公式支援窓口が、国連UNHCR協会です。  
皆様の温かいご支援に心より感謝を申し上げます。

### 特定非営利活動法人 AMDA社会開発機構 奥田鹿恵子様より

アムダマインズが現地事務所をおき、駐在員を派遣しているホンジュラス、ネパール、ミャンマーの各事業地での活動に対し、2021年度も多大なご支援を賜り、心よりお礼を申し上げます。新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、日本での生活にも大きな影響が及ぶ中での継続的なご寄付は、現地の人びとの明日への希望につながっているだけでなく、私たち職員にとっても大変心強い励みになっています。経済・物流面の問題などから現地で手に入りにくくなったマスクや生理用品に対して、手作りで対応していただいたことに、改めて感謝します。一つひとつ丁寧に縫われた素敵な柄の布マスクと布ナプキンの製作に関わってくださった皆様の温もりを感じながら、大切に使用させていただいています。

私がネパールでの駐在を終えて帰国した2021年12月には、前年度に続いてblue earth green trees様の主催で活動報告会の場を用意していただきました。奈良県出身の私にとって、同県内で事業国の状況を共有し、一緒に世界に目を向けることができる貴重な機会となりました。2022年1月にはホンジュラスへ赴任し、新たな駐在生活を始めています。また次の一時帰国時にお目にかかれることを楽しみにしながら、活動に励んでいます。今後とも、どうぞ宜しくお願い致します。

※アムダマインズ(特定非営利活動法人AMDA社会開発機構 本部：岡山市)は、人づくり村づくりを通じ、世界の貧困地域において暮らしの改善に取り組んでいる団体です。現在、アジア・アフリカ・中南米の8か国で約80名のスタッフが、保健、水と衛生、生計向上、農業、青少年育成などの社会開発の活動を展開しています。



### 株式会社フェアトレードコットンイニシアティブ 入江英明様より

株式会社フェアトレードコットンイニシアティブの入江と申します。2021年度は多くのみなさまにフェアトレードバッグを愛用いただきありがとうございました。ホームページに掲載のお客様の声を拝読し、わたくしどもの制作活動への励みとなっております。今回のバッグを通じて、フェアトレードを深く知っていただくきっかけになればたいへんうれしく思います。10年ほど前になりますが私は日本初となる「フェアトレードコットン」商品をローンチしました。当社を立ち上げる前はアパレル会社におりましたので、強制労働等の問題が多いコットン製品を持続可能ものにはできないかと考えておりました。そして世界中をまわり、インドでサプライチェーンを構築し、この事業を開始しました。これからも児童労働や搾取とは無縁の「フェアトレードコットン」を欧米のように、もっと身近に選んでいただけるように活動してまいります。また機会がありましたら現場の実情についてお伝えできればと思っております。



支援しているインドの学校にて

### 特定非営利活動法人 関西NGO協議会様より

主に関西に活動拠点をおくNGOが全国・世界のNGO/CSOと連携を強め、NGO/CSO同士のネットワークを形成し連帯を促進することで、それぞれの活動をより充実・発展させることを目的としたネットワーク型の国際協力NGOです。現在、41の加盟団体のほか、大学や企業、個人の会員によって活動を支えています。

2020年に加盟いただきましたblue earth green treesの皆さまとは、地域からSDGsを推進・達成する大切なパートナーとして、様々な活動をご一緒できることを楽しみにしています。

どうぞこれからもよろしく願いいたします。

関西NGO協議会（代表理事 三輪敦子 事務局長 栗田佳典（2022年4月～））

<https://kansaingo.net/index.html>



メッセージを下されたご協力団体様・協働団体様に加え、多くの個人の皆さま・団体の皆様にご協力くださいました。国内外の繋がるお一人おひとりに心より感謝申し上げます。

【ご協力者】（敬称略）

明石壮一、明石結衣、明石優花、明石利津子、明石利奈、明石和奏、浅香保ルイス龍太、天沼耕平、Arisa、有吉相陽、有吉真知子、有吉光彦、池田憲昭、Masami ISHIKAWA、石黒修、石田須美子、石田美加、井上恭子、今中健太、今中順子、入江英明、入部英則、入部克子、伊与田昌慶、岩崎裕保、Jeniffer WEISS、永立昌利、大河戸章代、大塚悦子、大西芳子、岡田学、岡本幹子、奥田鹿恵子、尾関真理子、乙倉恵子、小幡浩次、勝浦隆晴、加藤おりは、加藤久子、鎌田則子、Kazumasa、金田伊佐子、河合良成、河内崇典、川口結花、川島彰充、川野裕満子、菊池慶一、木村直子、久保田至、久保田葵、Lito CRUZ、小池泰久、小浦理恵、小寺敦子、小西友貴、Iris SAITO、Kayo SAITO、榊原一憲、佐藤可奈子、佐藤玉恵、佐藤嘉正、新川修一、Suzu、関原深、高橋智子、高橋美和子、田口淳子、ダシルバニクソン、ダシルバハンナ、ダシルバ久恵、田中西、田中恵子、田中葉月、田中人美、田中万紀、田中眞弓、玉井史朗、為則朗子、田村太郎、Danley DUNCAN、Chada、陳イーウエン、寺川梨枝子、轟木久美子、友田智子、中溪宏一、中野加奈、長橋秋楓、長橋弦生、長橋努、中村正美、Stuart NAGO、西井優嘉、西方千晶、西方穂積、西崎隆、西別府直美、西村馨、西村仁美、野田佳代、能島裕介、野近和夫、長谷川明日香、長谷川聖仁、長谷川聖夢、長谷川泰生、長谷川愛生、畠瀬直子、畑中敦子、畑中康宣、塙綾夏、馬場浩行、原田美智、東口健、東口洋史、菱田隆子、Armin PITHAWALA、福田英子、福西真実、古野茂実、Dana PEDERSON、波々伯部恵子、Maki、Masataka、松井治、松井友美恵、松木俊明、的場宏純、Athena MARINI、丸山太郎、丸山由美子、John MICHELL、水科純子、水野行範、南伊吹、南和宏、南孝良、南裕子、宮内純子、宮崎礼子、宮脇聡子、向谷仁美、Felicity MAY、森田真理子、Darryl Takizo YAGI、安田真由美、安田美津子、山上正道、山渕啓子、山村一彦、山本オリビア、山本かれん、山本花恋、山本ベネディクト、山本昌彦、芳島昭一、吉田早智子、吉田智里、吉田正夫、Anders LUNDQVIST、りゅうじ、りよーじ、Ryoto、ルミカ、若林暁子、若林訓雄、若林さくら、若林優太、脇坂博史、渡剛、“わたぼうし”の皆様、

匿名希望の皆様



【ご協力団体】（敬称略）

認定NPO法人アクセス、特定非営利活動法人あっとすくーる、  
特定非営利活動法人AMDA、特定非営利活動法人AMDA社会開発機構、  
And More、ECC社会貢献・国際交流センター、石さん家、  
ISLA Japan Travel、五ふしの草、いりべ歯科医院、株式会社インサイト、  
特定非営利活動法人edge、音楽劇団あかねこフレンズ、  
Guerneville School District、特定非営利活動法人加音西京極作業所、  
特定非営利活動法人関西NGO協議会、関西人間関係研究センター、  
Gippsland Emergency Relief Fund、憲法絵本と語りの会、  
国際環境NGO 350 org.Japan、特定非営利活動法人国連UNHCR協会、  
心と関係性の相談室「Re」、kokoroふあーむ縁、common cafe、  
一般社団法人コモン・ニジェール、ゴスペル☆IKOMA、  
GCC Kidsインターナショナルスクール、  
一般社団法人手話エンターテイメント発信団oioi、株式会社新踏社、  
Stewards of the Coast and Redwoods、  
一般財団法人ダイバーシティ研究所、太平楽美容室、  
一般財団法人たんぽぽの家、ちよいベジ、  
Think Of JAPAN While Knitting 関西、dawn、ナイロビ日本人学校、  
中嶋大会計事務所、奈良市立若草中学校、  
奈良市立若草中学校区地域教育協議会、  
一般社団法人ニジェール物語製作委員会、ネリキッチン、  
登大路総合法律事務所、ハートフルリーディング、葉音、  
株式会社フェアトレードコットンイニシアティブ、  
foo stitch、Boys and Girls Clubs of Sonoma-Marin、  
特定非営利活動法人防災Hand of All、もりわきファッションスクール、  
Wildlife Victoria、社会福祉法人わたぼうしの会たんぽぽ生活支援センター、  
匿名希望の団体様



# 寄付報告

◆特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構 (AMDA-MINDS) ミャンマー事業		35,000 円
第 4 回子育てカフェ	6 月 25 日	5,000 円
第 7 回子育てカフェ	9 月 24 日	5,000 円
第 8 回子育てカフェ	10 月 22 日	5,000 円
第 9 回子育てカフェ	11 月 26 日	5,000 円
第 10 回子育てカフェ	1 月 28 日	5,000 円
第 11 回子育てカフェ	2 月 25 日	5,000 円
第 12 回子育てカフェ	3 月 18 日	5,000 円
◆特定非営利活動法人 AMDA 社会開発機構 (AMDA-MINDS) ホンジュラス事業		42,615 円
第 10 回種を蒔く人のお話を聴く会	12 月 26 日	22,115 円
第 1 回手作り布ナブキンワークショップ	3 月 26 日	20,500 円
◆特定非営利活動法人 AMDA		10,000 円
第 5 回子育てカフェ	7 月 30 日	5,000 円
第 6 回子育てカフェ	8 月 20 日	5,000 円
◆特定非営利活動法人国連 UNHCR 協会		304,110 円
難民の皆さんと進むプロジェクト		50,000 円
第 9 回種を蒔く人のお話を聴く会 & 第 7 回 SDGs 勉強会		25,610 円
ウクライナ応援プロジェクト	2 月 27 日~3 月 30 日	228,500 円
◆特定非営利活動法人国連 WFP 協会		17,000 円
第 6 回種を蒔く人のお話を聴く会 & 第 4 回 SDGs 勉強会	6 月 12 日	17,000 円
◆認定特定非営利活動法人気候ネットワーク		16,500 円
第 2 回 ROUDOKU プロジェクト & 第 1 回ひとときカフェ	7 月 21 日	16,500 円
◆特定非営利活動法人市民ひろばなら小草		21,152 円
第 7 回種を蒔く人のお話を聴く会 & 第 5 回 SDGs 勉強会	8 月 30 日	21,152 円
◆公益社団法人 Save the Children Japan		20,000 円
第 3 回 ROUDOKU プロジェクト & 第 2 回ひとときカフェ	10 月 1 日	20,000 円
◆一般社団法人ニジェール物語製作委員会		30,500 円
第 8 回種を蒔く人のお話を聴く会 & 第 6 回 SDGs 勉強会	10 月 18 日	30,500 円
◆特定非営利活動法人国境なき医師団		20,000 円
第 4 回 ROUDOKU プロジェクト & 第 3 回ひとときカフェ	12 月 2 日	20,000 円
◆国際環境 NGO 350.org Japan		25,106 円
第 11 回種を蒔く人のお話を聴く会 & 第 8 回 SDGs 勉強会		25,106 円
		●合計 541,983 円
【当団体への寄付報告】		
◆特定非営利活動法人防災 Hand of All 様	4 月 6 日	20,000 円
◆個人寄付	9 月 5 日	500,000 円
◆個人寄付	12 月 20 日	200,000 円
		●合計 720,000 円



## 正味財産増減計算書

令和 3年 4月 1日 から令和 4年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
物品販売事業収益	373,000	0	373,000
受取寄付金			
受取寄付金	1,221,983	1,660,094	△ 438,111
雑収益			
受取利息	2	2	0
経常収益計	1,594,985	1,660,096	△ 65,111
(2) 経常費用			
事業費			
仕入原価	331,970	0	331,970
旅費交通費	1,000	4,200	△ 3,200
通信運搬費	42,690	90,792	△ 48,102
印刷製本費	0	6,659	△ 6,659
貸借料	58,560	121,870	△ 63,310
諸謝金	0	3,000	△ 3,000
支払負担金	30,000	0	30,000
支払寄付金	541,983	373,260	168,723
委託費	0	44,000	△ 44,000
雑費	8,754	23,354	△ 14,600
事業費計	1,014,957	667,135	347,822
管理費			
会議費	0	3,330	△ 3,330
通信運搬費	22,345	18,045	4,300
減価償却費	93,415	73,669	19,746
消耗品費	20,000	57,612	△ 37,612
貸借料	70,190	11,580	58,610
租税公課	0	114,100	△ 114,100
支払負担金	10,000	50,000	△ 40,000
管理諸費	0	66,454	△ 66,454
雑費	19,969	9,592	10,377
管理費計	235,919	404,382	△ 168,463
経常費用計	1,250,876	1,071,517	179,359
評価損益等調整前当期経常増減額	344,109	588,579	△ 244,470
当期経常増減額	344,109	588,579	△ 244,470
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	344,109	588,579	△ 244,470
法人税、住民税及び事業税	78,900	0	78,900
当期一般正味財産増減額	265,209	588,579	△ 323,370
一般正味財産期首残高	588,579	0	588,579
一般正味財産期末残高	853,788	588,579	265,209
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	853,788	588,579	265,209

## 理事・事務局メッセージ

理事（敬称略）	
岡崎 伸彦/OKAZAKI Nobuhiko	コロナ禍から2年以上経ち、社会が少しずつ元気を取り戻している気がします。完全なる夜明けまできっとあともう少し。気兼ねなく過ごせる日が楽しみです。
尾松 貴美/OMATSU Kimi	一日も早くウクライナの人々に平和な暮らしが戻ることを願い、気候変動や難民問題などを自分事として考え、行動することをこれからも続けていきたいと思っています。
小原 祥子/KOHARA Shoko	コロナ禍終焉を願う中、人間の行いから生まれる残酷な現実を目にする日々となりました。祈りとともに、自分にできる小さな何かを考え続けていきたいと思っています。
杉岡 博幸/SUGIOKA Hiroyuki	集まって学び合う機会が増えました。どのような状況のなかでも自分の歩む道を自覚し、進んでおられる多くの方々に出会いました。視野が広がります。
田中 啓義/TANAKA Hiroyuki	コロナ禍、ウクライナ侵攻と、世界を騒がす大事件が続く今こそ、地道な活動を誠実に継続することが、重要だと思います。細部にこそ神は宿る。
東口 千津子/HIGASHIGUCHI Chizuko	多様な一人ひとりの声を聴き合い、学び合い、個人・組織・社会が育て合う方へ進む。そんな場所を一緒に育てていただき感謝致します。I appreciate your actions.
松本 由季子/MATSUMOTO Yukiko	2021年度は、布ナプキンプロジェクトを通して新たな出会いと繋がりの機会をいただくことができました。ご縁をいただいた皆様に感謝しております。
矢倉 真由子/YAKURA Mayuko	お互いの在り方を尊重しながら、それぞれの話を聴き合うことで生まれる繋がりが、新たな一歩への支えとなることを改めて感じています
山納 洋/YAMANO Hiroshi	理不尽と受難を見つめる日々、ただ繋がっている人たちのためにできることをする。自分は自分の現場を大事にして、実践を続けていきたいと思っています。
事務局ボランティア（敬称略）	
今中 和子/IMANAKA Kazuko	本当に大切なことは何か。原点を問い直し、学び、自分の信じる日々を過ごす。そういう力をもらえる場所です。
長尾 邦光/NAGAO Kunimitsu	「誰かの笑顔の為に」と活動する中で活動者が笑顔になりその笑顔を見た他のメンバーも笑顔になる。そんな「人の持つ優しさに触れる」事が出来た一年でした。
西井 ひろ美/NISHII Hiromi	厳しい状況が続く中、活動を通じて皆さんが笑顔になり、又新たな繋がりが出来たことに感謝しています。
埴 香織/HANAWA Kaori	各プロジェクトへご参加いただく皆様と「今、ここ」でできる事を一緒に考えてより良い選択をする姿勢を学びました。
六田 裕子/ROKUTA Yuko	多様なお一人おひとりの慈愛を感じながら、スタッフの一員として参加させていただけることに感謝致します。
監事（敬称略）	
中島 大/NAKAJIMA Hiroshi : 中島大会計事務所	